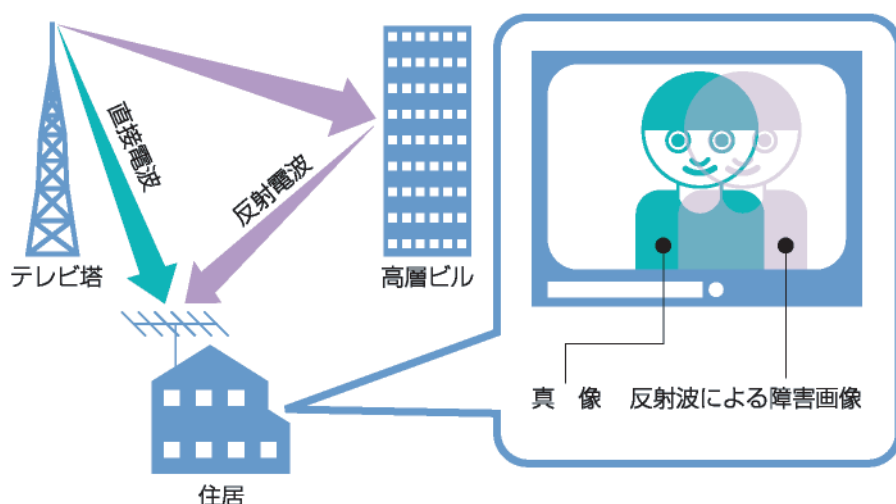


テレビゴースト障害対策技術の現状 -電波吸収性能を有する外壁板について-

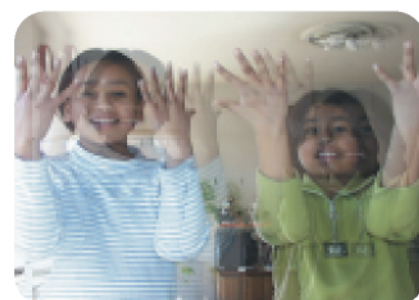
ウィグナラージャ シバクマラン

Technological Trends in Measures to Combat TV Ghost Interference

Sivakumaran Wignarajah



正常な画像



ゴースト障害画像

反射障害を受ける地域内の住居の場合は、テレビ塔からの直接電波に加えて、高層ビルの外壁に反射されて少し遅れてくる反射波もアンテナに到達するため、テレビ画像が二重三重になります。

研究の目的

高層ビルの急増に伴い、ビルの外壁でのテレビ電波の反射によるテレビゴースト障害（テレビ画像が二重三重になる現象）を防止する対策が求められる物件が増えています。テレビゴースト障害対策は、様々な方法がありますが、外壁にテレビ電波を吸収する電波吸収体を設置し、反射を防ぐ方法が一般的です。本報では、テレビゴースト障害の発生機構、ゴースト障害対策及びゴースト障害対策用電波吸収外壁の種類や性能について解説し、今後のニーズについての見解を示しました。

技術の説明

現時点で実用化されているフェライトタイル方式、フェライトモルタル方式及び抵抗膜方式の電波吸収外壁の構造、特徴及び電波吸収性能についての知見を述べました。

主な結論

最近までは、ゴースト障害対策が都市の高層ビルを中心であったため、VHF周波数帯(1～12ch)の対応が殆どでした。しかし、高層ビルの地方分散が進むにつれ、VHF帯に加えUHF帯対応の電波吸収外壁のニーズが増えています。また、2003年以降に始る地上波デジタル放送はUHF帯を使用します。このため、VHF&UHF帯用またはUHF帯用の電波吸収外壁の技術開発が今後の焦点になると思われます。